

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●田原市の再生可能エネルギー

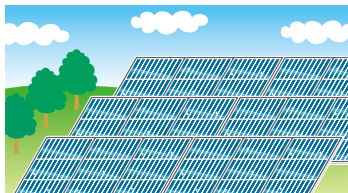
前回は、再生可能エネルギー固定価格買取制度についてご紹介しました。今回は、市内の再生可能エネルギー導入状況などについてご紹介します。

■市内の再生可能エネルギー導入状況

田原市は、たはらエコ・ガーデンシティ構想のもと、エコエネルギー導入プロジェクトを推進しています。

現在、太陽光発電施設は市内62の公共施設などに導入(約320kW)、風力発電施設は市内23か所に45基が導入(約4万7300kW)されています。

田原市の日照時間、平均風速は国内最高水準です。太陽光や風力で、高効率の発電が期待できるエネルギー資源に恵まれた地域です。なお、平成26年2月には、緑が浜に5万kWのメガソーラーが完成予定です。



■再生可能エネルギーのこれから

再生可能エネルギーは、コストや土地の制約など、まだまだ課題があります。買取制度をきっかけに、再生可能エネルギーによる発電がビジネスとなり、研究開発や普及拡大につながることが期待されています。皆さんのご理解と協力をお願いします。



※市内の詳しい導入状況については、「たはらエコエネルギーMAP」をご覧ください。エコエネ推進課や中央図書館などで配布するほか、市ホームページからダウンロードすることもできます。

たはらエコエネルギーMAP

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1877人・事業所80か所(8月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

🌐<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー



ゴミモンとリサイクルレンジャー

レジ袋の有料化がスタートして、3年が経過しました。この取り組みは、市内15店舗で実施され、継続して高い辞退率を維持しています。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。



●レジ袋辞退率の推移

- 平成21年度 88・7%
- 平成22年度 87・7%
- 平成23年度 87・6%

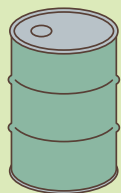
●平成23年度に削減されたレジ袋

- 削減枚数 572万3568枚
- 削減重量 5万6663kg (1枚/9.9g換算)

- 削減されたCO₂の排出量 約340t

●平成23年度のレジ袋削減の成果

1枚(LL判9.9g)の生産に、石油約18.3mlが必要です。原油量に換算すると、1年間に約105kℓが削減され、ドラム缶(200ℓ)換算で525本分に相当します。



●レジ袋削減のメリット

- 地球温暖化の抑制
- 石油資源の消費抑制
- ごみの減量化・処理コスト削減

【レジ袋削減の協定締結店舗】

イオン田原店、酒蔵トウカイ、ジップドラッグ赤石店・田原赤石薬局・赤羽根店・渥美薬局、スギ薬局田原店、スーパーカネイチ、田原コープ(株)磯田園・フレッシュミート、道の駅田原めぐんはうす、パワーズ田原店、フードオアシスあつみ田原店・福江店、ヤマナカ田原店

※有料化によるレジ袋削減の趣旨をご理解いただき、参加を希望される事業者を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

使い捨てのライフスタイルを見直し、マイバックでの買い物を楽しみましょう。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

🌐<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

